



広報 日造 協

www.jalc.or.jp

第430号

2010年1月1日

発行/社団法人日本造園建設業協会 (Japan Landscape Contractors Association) 創刊/昭和49年6月1日 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-17 井門本郷ビル2階 TEL03(5684)0011 FAX03(5684)0012

新春特別号

「環境の世紀に向けて」

造園は時代の主役と成り得るか

謹賀新年

庚寅

2010年

(社)日本造園建設業協会

会長 佐藤 四郎

年頭にあたつて

新年明けましておめでとうござい
ます。

今年も会員の皆様と共に、新年の
良き日を迎えた事を大変うれし
く思います。

本年の干支は寅(虎)であります。
〔寅〕は「蟻」(いん・動く)の意味
で、春が来て草木が生ずる状態を表
しているとされています。後に覚え
易くするために動物の「虎」が割り
当てられたと言われております。

「虎」は強い者、豪傑の代名詞と
してよく用いられ、戦国武将の武田
信玄や上杉謙信はそれぞれ「甲斐の
虎」、「越後の虎」と「虎」に喩えら
れました。

さて、昨年は「今年の漢字」であ
る「新」に代表されるよう、新型イ
ンフルエンザが世界中に蔓延し、新
薬が着目されました。また米国では
オバマ新大統領が誕生し、国内でも
新政権である鳩山内閣が誕生しまし
た。

スポーツの世界でも大リーグのイ
チロー選手の新記録や、ゴルフでは
石川遼手が最年少新記録を樹立す
るなど、まさに「新」尽くめであり
ました。

新しい環境技術の開発や世界経済
の変化など、まさに新たな時代を予
感させる一年であつたと感じ得ま
す。

一方、本年の10月には名古屋の地
でCOP10(生物多様性条約第10回
締約国会議)が開催されます。

ご存知の通り、現在最先端技術の
なることを念頭に、実りある一年と
なることを祈念しております。



石抱の梅 トキの野生復帰に向けた取り組みで注目を集める佐渡島(佐渡市)は、自然環境とともに、歴史的・文化的な遺産にも恵まれた島です。島中央部の真野にある「石抱の梅」は、樹高7.7m、幹周3.5mで順徳天皇のお手植えと伝えられています。この梅は、根元に大石を抱きこんでいることから、その名が付けられました。3月中旬ころに薄紅色の花が咲き香り、島に春の到来を告げます。

(新潟県支部長
磯部久人)

環境問題と共に生物多様性の問題
は、我々造園業界に追い風の話題
であり、これらを考慮し、昨年には
当協会内に「COP10支援特別委員
会」を設置し対応を検討しております。

また、昨年には本部役職者を交
した各支部との交流会を開催し、各地
での問題点や今後の対応、また最大
の課題である公益法人制度改革など
を議論させて頂き、これをもつて会
員にとって最良の方向を検討し、今
後の協会運営に役立てる所存でござ
ります。

経済が厳しい折では御座います
が、進化論で有名なダーウィンは「生
き残るのは最強の種ではない。最も
高い知能を有している種でもない。
最も敏感に変化に反応する種であ
る」と述べております。

我々も変化の激しい激動の時代に
おいて敏感に反応し「産業の虎」と
なることを念頭に、実りある一年と
なることを祈念しております。



近藤 行政の担当者の方々
も、時には主木職や事務職などで造園のことを知らなかったり、現場の造園技術者が十分な説明を行っていると思いま
す。また、ワークショップ等

藤巻 造園工事業の取り組む公共事業の中核をな

す。都市公園整備、都市緑化の推進ですが、ピーク時に1兆2600億円の事業費がありました。現在は約4000億円です。

しかし、日造協が発足した

昭和46年は670億円でした

が、都市公園事業が昭和47年に国5カ年計画の対象事業

に選ばれました。それから、

市民が造園が必要だと思

うから、行政が動かざるを得ません。

そこで、造園業者側から行政

に働き掛けても、単に仕事が欲しくからでしょう? といふ

ことになりませんか? 確かに

欲いのだと私は思いますが、

儲けるためだけに仕事をして

いつら2009年の流行語にもなりました。が、仕分けされ

てしまします!

ですから、何が言いたいか

といふと、行政に説明し理解してもらわるのは大事ですが、

それだけでは不十分で、市民にもきちんとその必要性を理解してもらわなければ、行政の方たちも、積極的に推進するようになるでしょうし、作るだけでなくそ

の後の管理の大切さも理解されると、と思うのです。結果的に、よりよい緑の環境が整備され、市民の幸せにつながる

という良い循環ができるのではないか、と期待している

近藤 行政の担当者の方々も、時には主木職や事務職などで造園のことを知らなかったり、現場の造園技術者が十分な説明を行っていると思いま

す。また、ワークショップ等

新春鼎談

「環境の世紀」「緑の造園が時代の主役に成り得るか、

で、住民の方々を交えた説明も行われています。

須磨 ワークショップはここ数年増えました。市民パワーが益々強くなるでしょうね。

行政の担当者の方への説明も必要だと思いますが、行政への働きかけに頼る姿勢は、も

はや時代遅れかと思います。

これからは市民力の時代です。市民が造園が必要だと思

うから、行政に働き掛けること

が、市民から行政に働き掛けるかもしません。

市民が動くことで、行政が動かざるをえなくなる、という

ことにも考えられます。

それに造園業者側から行政

に働き掛けても、単に仕事が欲しくからでしょう? といふ

ことになりませんか? 確かに

欲いのだと私は思いますが、

儲けるためだけに仕事をして

いつら2009年の流行語にもなりました。が、仕分けされ

てしまします!

ですから、何が言いたいか

といふと、行政に説明し理解してもらわるのは大事ですが、

それだけでは不十分で、市民にもきちんとその必要性を理解してもらわなければ、行政の方たちも、積極的に推進するようになるでしょうし、作るだけでなくそ

の後の管理の大切さも理解されると、と思うのです。結果的に、よりよい緑の環境が整備され、市民の幸せにつながる

という良い循環ができるのではないか、と期待している

近藤 行政の担当者の方々も、時には主木職や事務職などで造園のことを知らなかったり、現場の造園技術者が十分な説明を行っていると思いま

す。また、ワークショップ等

で、住民の方々を交えた説明も行われています。

須磨 ワークショップはここ数年増えました。市民パワーが益々強くなるでしょうね。

行政の担当者の方への説明も必要だと思いますが、行政への働きかけに頼る姿勢は、も

はや時代遅れかと思います。

これからは市民力の時代です。市民が造園が必要だと思

うから、行政に働き掛けること

が、市民から行政に働き掛け

るかもしません。

市民が動くことで、行政が動かざるをえなくなる、という

ことにも考えられます。

それに造園業者側から行政

に働き掛けても、単に仕事が欲しくからでしょう? といふ

ことになりませんか? 確かに

欲いのだと私は思いますが、

儲けるためだけに仕事をして

いつら2009年の流行語にもなりました。が、仕分けされ

てしまします!

ですから、何が言いたいか

といふと、行政に説明し理解してもらわるのは大事ですが、

それだけでは不十分で、市民にもきちんとその必要性を理解してもらわなければ、行政の方たちも、積極的に推進するようになるでしょうし、作るだけでなくそ

の後の管理の大切さも理解されると、と思うのです。結果的に、よりよい緑の環境が整備され、市民の幸せにつながる

という良い循環ができるのではないか、と期待している

近藤 行政の担当者の方々も、時には主木職や事務職などで造園のことを知らなかったり、現場の造園技術者が十分な説明を行っていると思いま

す。また、ワークショップ等

で、住民の方々を交えた説明も行われています。

須磨 ワークショップはここ数年増えました。市民パワーが益々強くなるでしょうね。

行政の担当者の方への説明も必要だと思いますが、行政への働きかけに頼る姿勢は、も

はや時代遅れかと思います。

これからは市民力の時代です。市民が造園が必要だと思

うから、行政に働き掛けること

が、市民から行政に働き掛け

るかもしません。

市民が動くことで、行政が動か

ざるをえなくなる、という

ことにも考えられます。

それに造園業者側から行政

に働き掛けても、単に仕事が欲しくからでしょう? といふ

ことになりましたが、仕分けされ

てしまします!

ですから、何が言いたいか

といふと、行政に説明し理解してもらわるのは大事ですが、

それだけでは不十分で、市民にもきちんとその必要性を理解してもらわなければ、行政の方たちも、積極的に推進するようになるでしょうし、作るだけでなくそ

の後の管理の大切さも理解されると、と思うのです。結果的に、よりよい緑の環境が整備され、市民の幸せにつながる

という良い循環ができるのではないか、と期待している

近藤 行政の担当者の方々も、時には主木職や事務職などで造園のことを知らなかったり、現場の造園技術者が十分な説明を行っていると思いま

す。また、ワークショップ等

で、住民の方々を交えた説明も行われています。

須磨 ワークショップはここ数年増えました。市民パワーが益々強くなるでしょうね。

行政の担当者の方への説明も必要だと思いますが、行政への働きかけに頼る姿勢は、も

はや時代遅れかと思います。

これからは市民力の時代です。市民が造園が必要だと思

うから、行政に働き掛けること

が、市民から行政に働き掛け

るかもしません。

市民が動くことで、行政が動か

ざるをえなくなる、という

ことにも考えられます。

それに造園業者側から行政

に働き掛けても、単に仕事が欲しくからでしょう? といふ

ことになりましたが、仕分けされ

てしまします!

ですから、何が言いたいか

といふと、行政に説明し理解してもらわるのは大事ですが、

それだけでは不十分で、市民にもきちんとその必要性を理解してもらわなければ、行政の方たちも、積極的に推進するようになるでしょうし、作るだけでなくそ

の後の管理の大切さも理解されると、と思うのです。結果的に、よりよい緑の環境が整備され、市民の幸せにつながる

という良い循環ができるのではないか、と期待している

近藤 行政の担当者の方々も、時には主木職や事務職などで造園のことを知らなかったり、現場の造園技術者が十分な説明を行っていると思いま

す。また、ワークショップ等

で、住民の方々を交えた説明も行われています。

須磨 ワークショップはここ数年増えました。市民パワーが益々強くなるでしょうね。

行政の担当者の方への説明も必要だと思いますが、行政への働きかけに頼る姿勢は、も

はや時代遅れかと思います。

これからは市民力の時代です。市民が造園が必要だと思

うから、行政に働き掛けること

が、市民から行政に働き掛け

るかもしません。

市民が動くことで、行政が動か

ざるをえなくなる、という

ことにも考えられます。

それに造園業者側から行政

に働き掛けても、単に仕事が欲しくからでしょう? といふ

ことになりましたが、仕分けされ

てしまします!

ですから、何が言いたいか

といふと、行政に説明し理解してもらわるのは大事ですが、

それだけでは不十分で、市民にもきちんとその必要性を理解してもらわなければ、行政の方たちも、積極的に推進するようになるでしょうし、作るだけでなくそ

の後の管理の大切さも理解されると、と思うのです。結果的に、よりよい緑の環境が整備され、市民の幸せにつながる

という良い循環ができるのではないか、と期待している

近藤 行政の担当者の方々も、時には主木職や事務職などで造園のことを知らなかったり、現場の造園技術者が十分な説明を行っていると思いま

す。また、ワークショップ等

で、住民の方々を交えた説明も行われています。

須磨 ワークショップはここ数年増えました。市民パワーが益々強くなるでしょうね。

行政の担当者の方への説明も必要だと思いますが、行政への働きかけに頼る姿勢は、も

はや時代遅れかと思います。

これからは市民力の時代です。市民が造園が必要だと思

うから、行政に働き掛けること

が、市民から行政に働き掛け

るかもしません。

市民が動くことで、行政が動か

ざるをえなくなる、という

ことにも考えられます。

それに造園業者側から行政

に働き掛けても、単に仕事が欲しくからでしょう? といふ

ことになりましたが、仕分けされ

てしまします!

ですから、何が言いたいか

